平成23年11月10日

各 位


上場会社名　株式会社ウェッジホールディングス
代表者　代表取締役社長 田代　宗雄
（コード番号　2388）
問合せ先責任者　取締役経営管理本部長 浅野　樹美
（TEL　03-6225-2207）


# 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

## ● 業績予想の修正について

平成23年9月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 4,000 | 1,000 | 950 | 280 | 1,059.95 |
| 今回修正予想(B) | 3,727 | 1,037 | 923 | 175 | 663.61 |
| 増減額(B-A) | △273 | 37 | △27 | △105 | |
| 増減率(%) | △6.8 | 3.7 | △2.8 | △37.5 | |
| （ご参考）前期実績（平成22年9月期） | 3,699 | 802 | 761 | 369 | 1,597.52 |

平成23年9月期通期個別業績予想数値の修正（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 820 | 110 | 110 | 76 | 301.90 |
| 今回修正予想(B) | 1,281 | 53 | △9 | △31 | △119.21 |
| 増減額(B-A) | 461 | △57 | △119 | △107 | |
| 増減率(%) | 56.2 | △51.8 | △108.2 | △140.8 | |
| （ご参考）前期実績（平成22年9月期） | 923 | 83 | 110 | 320 | 1,385.20 |

修正の理由

平成23年９月期連結業績予想につきましては、事業は予想を上回る好調さを持続したものの、下記の要因により、売上高は前回発表を2億73百万円下回る37億27百万円、営業利益は前回発表を37百万円上回る10億37百万円、経常利益は前回発表を27百万円下回る9億23百万円、当期純利益は前回発表を1億5百万円下回る1億75百万円を見込んでおります。

当期の当社グループの事業といたしましては、従来開示いたしました予想に比べて、国内海外ともに大きく好調に推移いたしました。しかしながら以下の変動要因により下方修正となったものです。

海外ファイナンス事業におきましては、決算時には売上高に対して支払われるコミッションを全売上高から差し引いた額を売上高として計上しておりますが（全売上高－コミッション＝計上する売上高）、予想時点においてはこの全売上高を売上高とし、コミッションを経費としておりました。このため売上高が見かけ上、予想を下回っておりますが、当該売上高予想の修正はビジネスの現状とはかかわりなく、また利益には影響はない予想の修正となります。当該コミッションフィーの差引分が売上高に対してのみ3億46百万円のインパクトを与えております。予想の算出に当たり、上記のような単純なミスが発生し、市場関係者の皆様、投資家、株主の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

なお、平成24年9月期決算の予想においては、概算にて当該差引を行った後の計上されるべき売上高にて予想を発表する予定です。

また、当該期間においては大幅な円高が進み、海外売上高はバーツでは9億26百万バーツと予想を大きく上回ったものの、円換算を行った際には予想に比べ、マイナス46百万円の差異が生じております。
また、当期純利益につきましては、Group Lease PCLにおいて本年6月と9月に同社の他の主要株主であるA.P.F. HOLDINGS Co.,Ltd.を中心とする新株予約権の行使による増資が行われたため、当社子会社でありますENGINE HOLDINGS ASIA PTE.LTD.の持ち分が48.58%から43.98%に減少いたしました。このことにより、利益の連結取り込み額が11百万円減少し、そのほかに持分変動損失が発生したために29百万円の影響が出ました。

また、Group Lease PCLは好調な業績に支えられ、当社予想を上回る配当を支払っており、これが当社子会社でありますENGINE HOLDINGS ASIA PTE.LTD.が受け取ることにより、配当源泉税が予想以上に11百万円発生いたしました。

国内事業におきましては、営業利益では、出版事業において携帯配信・電子書籍を通じた出版に注力することと従来型の書籍出版事業を大幅に縮小することを決定したため30百万円の在庫の評価減を実施しております。

経常利益は、営業利益までの要因に加え、すでに昨期までに撤退いたしました事業に関連する貸付金並びに回収が困難と認められる未収金に対し、71百万円の貸倒引当金を繰り入れました。

上記特殊要因により、売上高については3億92百万円、営業利益について30百万円、経常利益について1億30百万円、当期純利益について1億79百万円のマイナスの乖離となりました。

上記特殊要因による結果、売上高は前回発表を2億73百万円下回り、営業利益において前回発表を37百万円上回り、経常利益において前回発表を27百万円下回り、当期純利益において前回発表を1億5百万円下回っております。

上記一過性の特殊要因の結果として、売上高、および当期利益につき下方修正を行うこととなったものですが、実際には事業そのものとしては売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれに対しても予想を上回る好調な結果となる予想です。昨年に比べますと、海外ファイナンス事業の担い手であるGroup Lease PCLの売上高は約8億バーツから約9億バーツへと増加し、経常利益は約2億4千万バーツから、約4億バーツへと大幅に増加いたしました。この結果、当期利益においても約1億8千万バーツであったものが、約2億8千万バーツへと約5割増加しております。国内事業におきまして、売上高は昨期撤退事業分を除外すると約11億47万円から約12億14万円へ増加し、営業損失は約△81百万円から、今期の事業方向性転換に伴う評価損の約30百万円を含めても、約△27百万円へと大幅に改善いたしました。

平成23年9月期個別業績予想につきましては、事業は概ね順調に進捗したものの、下記の要因により、売上高は前回発表を4億61百万円上回る12億81百万円、営業利益は前回発表を57百万円下回る53百万円、経常利益は前回発表を1億19百万円下回る△9百万円の損失、当期純利益は前回発表を1億7百万円下回る△31百万円の損失を見込んでおります。

まず、売上高につきましては、物販事業の売上高を予測に含めずに集計していたことによります。実際の計上は物販事業の売上高も含まれますために、このような結果となる予想です。このため、当該修正はビジネスの現状とはかかわりのない予想の修正となります。予想の算出に当たり、上記のような単純なミスが発生し、市場関係者の皆様、投資家、株主の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

営業利益では、出版事業において携帯配信・電子書籍を通じた出版に注力することと従来型の書籍出版事業を大幅に縮小することを決定したため30百万円の在庫の評価減を実施しております。
経常利益では、営業利益までの要因に加え、すでに前期までに撤退いたしました事業に関連する貸付金並びに回収が困難と認められる未収金等に対し、71百万円の貸倒引当金を繰り入れました。
当期純利益では、これらの要因に加え、繰延税金資産の取り崩しが6百万円発生いたしました。
上記特殊要因により、営業利益では30百万円、経常利益では1億1百万円、当期純利益では1億7百万円の乖離となっております。
個別業績予想につきましては、不採算事業からの撤退に関わる上記の特殊要因などがありましたが、事業そのものといたしましては、予想と大きく乖離しない結果となっております。

以 上